

(藤本議員)

- Q 選挙における開票集計の取り組みは。
 A チーム制により事務を細分化するなど、スピードアップに向けた取り組みを行っている。
 (三村総務課長)



A 今年4月の統一地方選から、票の仕分け作業にいちごパックを導入し、7月の参院選では有効投票例を掲示し、開票・検査の事務を細分化しチームで作業を行うなど、スピードアップのため様々な取り組みを行っている。なお、開票事務終了時間の目標は設定していたが、1分当りの処理量の目標値は設定していない。

Q 近隣の団体では、開票集計所要時間の短縮に職員全員で取り組み、事務の効率化が行われている。本町では、開票事務の迅速化について、どのような取り組みを行ったのか。また、開票事務従事者1人当りの1分間の数値目標や、開票事務終了予定時刻等の時間短縮の指導は行ったのか。

(山野議員)

- Q 起債及び一時借入金について。
 A 様々なケースに対し、検討を行っている。
 (平本町長、平町総務部長)



A 特例措置の対応について、本町においては、高利率の起債の繰上償還等については、個々の起債の償還状況に応じた検討を行っている。起債の現在高(平成18年度末)は、一般会計が約67億7千万円、下水道特別会計が約69億1千万円、水道会計が約1億3千万円である。

Q 8月の新聞で、低金利の時代に見合って利率の高い起債を持つ自治体は、3年間の期限付きで借り換えてもよいという法案が出来たとのことだが、これに対する町の対応は。また、起債の現在高はいくらか。

(渡議員)

- Q 保育料未納の現状について問う。
 A 全体で滞納者数が0.6%、滞納額が0.2%である。
 (内田福祉課長)



A 本町の状況は、滞納者数が3人で全体の0.6%、全国と比べマイナス3.1ポイントとなっている。滞納額は19万7千300円で全体の0.2%、全国と比べマイナス1.7ポイントとなっている。今後とも、保育料徴収事務の適正な執行を推進し、町民の保育料負担の公平な確保に努めていく。

Q 新聞やテレビ等、メディアの中で保育料の滞納問題が取り沙汰されているが、熊野町ではどうなっているか。

民生部門